

桂坂山の手倶楽部だより

(第59号)

令和2年7月25日 発行
桂坂山の手倶楽部だより編集委員会



令和2年度事業計画の見直し

会長 清水健男

いままで経験したことが無いコロナ感染症が今なお蔓延する中、皆様大変ご不自由な生活を強いられていることと、お見舞い申し上げます。ただ会員の中から、この恐ろしい病気にかかわったとの情報が無いのが、何よりの救いです。

このような中、誠に残念なことは、2月以降、皆様が楽しみにされていた山の手倶楽部の活動や行事を軒並み開催できなかつたことです。多くのご提案を盛り込み、4月に会員全員のご承認を得た魅力的な事業計画を立てながら、これらを実行できていないことに、役員一同大変申し訳なく思っています。

6月に入り学校の一部施設や自治会館などが厳しい条件付きで、やっと利用できるようになりましたので、今後の活動をどうするかを相談するため、各同好会の責任者のご意見を集約したうえで、6月27日に臨時三役会議を開催しました。本来役員全員が集まり、相談すべきですが、三密を避けるため、やむなくこのような方式の役員会とし、あとは、書面で役員の見解をお聞きし同意いただくことになりました。

その結果、山の手倶楽部の基本姿勢としては、「特に高齢者の集まりであるがゆえに、会員の健康を第一」と考え、慎重に再開することとし、各種行事の開催の適否を決めることとしました。即ち適当な会場が確保できるか、準備段階で三密を避けられる方法があるか、開催行事の当日の安全性はどうか、などについて行事ごとに検討の結果、誠に残念ながら、次のような結論に至りました。

- ① 10月「趣味の作品展」、② 11月「山の手芸能祭」、③ 7月・10月「うたごえキッサ」
- ④ 11月「古の映画祭」

これらはいずれも中止とします。

また、小学校やPTA、自治連合会が主催して、山の手倶楽部がそれに協力する行事については、それぞれの主催者の取り決めに従います。したがって「8月の声かけ活動」は実施しますが、それ以外の7月「PTAフェスティバル」9月「カザラッカ・コンサート」は中止、これら以外は今後決定されることとなりますので、自治会等からの連絡にご注意いただくようお願いします。

一方、各同好会の活動については各同好会で判断され、安全な形を取りながら活動が継続、ないしは6月頃から再開されています。やはり活動しての山の手倶楽部でありますので、会員が十分な安全対策を自覚し、心掛けながら、より充実した運営をお願いします。

現時点での各同好会の活動状況を次頁に纏めていますので、参考にしてください。

全体の状況は以上のような状態ですので、皆さんからお預かりしている今年度の年会費は、今日現在ほとんど使われていません。これを来年度に実施予定の山の手倶楽部30周年記念事業に活用するなどの案も考えられますが、ここは、いったん会員の皆様に実質返戻する方法として、来年度会費を減額するよう検討してゆきます。

どうかこれからも感染と健康には万全のご注意をして頂き、日々明るく生活されることを祈願いたします。

＜各同好会の活動状況を報告します＞

歩こう会	コロナに関係なく毎朝歩いています。ただマスクは付けています。 だいたい5～6人が参加しています。4月の花見会は中止しました。
書道	練習場の交流スペースが使用不可のため活動停止しています。7月以降も再開見通しがたっていません。ただ、野鳥遊園での展示が10月～11月にあるのでその準備を個人別に始めています。
コーラス	練習する交流スペースが使用不可のため活動停止しています。7月以降も再開見通しが立っていません。
囲碁・将棋	3月以降、例会及び児童館の将棋道場を中止しています。地域交流スペースが使用可能になれば、総会を開催し以降例会を再開します。
写真	8月～9月の野鳥遊園での展示に向けて準備中です。
G・ゴルフ	6月22日から定例練習を、やっと再開しました。
ゴルフ	年間計画通り活動を実施中です。但し三密を避けるため、プレー後のパーティは中止しています。
ボウリング	6月25日から活動を開始しました7月からは通常のスケジュール通り実施します。 (月3回のプレー)
社交ダンス	6月から会場の新林会館が使用可能になりましたが、メンバーが練習自体を希望しないので7月以降も活動は未定の状況です。
カラオケ	6月まで交流スペース使用不可のため活動停止し7月以降も会場使用許可が出ませんのでお手上げです。カラオケボックスは三密そのものですし、小樽では昼カラオケでクラスター発生など取り巻く環境は悪化の一途のようです。
マーじゃん	6月までひいらぎ自治会館使用不可の為、活動停止です。7月から会場OKとなれば開催するつもりです。
絵画	7月7日から桂坂小学校ふれあいルームで月2回 人数を半分に絞り例会を再開する予定です。7月末まで野鳥遊園で会員の作品を展示中です。
ハイキング	活動には公共交通機関を使用するため現在活動中止状態です。9月24日から活動を再開する予定です。
ペタンク	6月23日から定例練習を再開しました。
映画鑑賞	6月30日まで活動休止し、「三密」を回避出来そうな上映会場をあたりましたが見当たらず、9月30日まで再休止致します。
軽音楽	6月まで交流スペース使用不可のため、桂坂小学校ふれあいルームで6月27日から練習再開しました。今後は7月第1・第3土曜、8月第1・第3土曜に練習予定です。交流スペースでの使用が許可されれば会場として戻ります。

*各同好会代表者にヒアリングしました。

活動を再開した同好会

軽音楽同好会「クッキーズ」

6月27日から桂坂小学校ふれあいルームで練習を再開しました。



グラウンド・ゴルフ同好会

6月22日やっと再開しました。蜜にならないよう気をつけながらプレーしています。



絵画同好会

七夕に再開しました。桂坂小学校で。蜜にならないよう半分に分け、マスクを着用し机や椅子なども消毒して、感染防止に努めています。



山の手倶楽部へのお誘い（下）

昨年5月号から引き続き、山の手倶楽部のような「組織活動への参加が健康長寿の秘訣」という調査結果をご紹介してきましたが、今回が最後のご報告です。これは全国41市町村、約20万人を長期間にわたり追跡調査した結果です。皆さん方の周りの方々にもお話し頂き、一人でも多くの仲間、私たちの「山の手倶楽部」への入会を勧誘していただくようお願いいたします。老後 元気で居られることは本人の為のみならず、家族や社会の為に大切なことです。

1. 「地域組織への参加は健康にプラス」参加率が高い地域では、認知症リスクは低い

会への参加率	20%	50%	80%
認知症リスクの割合	55%	45%	35%

2. 「地域で役割を持つ高齢者は長生き」（65歳以上1万人5年間、同一条件比較）

自治会などの役員やリーダーは通常メンバーと比べ、死亡率が12%低下

（清水健男記）

<新型コロナウイルスにご注意>

ウイルスの感染は飛沫感染と接触感染で、食品や被服などを介した感染事例はありません。従って、マスクを着用し蜜を避けるなど飛沫感染に注意して下さい。段ボールやプラスチック、ステンレスなどに付着したウイルスは長く生存(1~3日)するので、手の消毒や手洗いで接触感染を防いで下さい。また、ペットやハエ・蚊などを介した感染事例もありません。

発熱や咳、味覚や嗅覚の症状など感染が疑われた時、平日 8:30~17:00 は洛西医療衛生コーナ 075-874-2275、土・日・祝・夜間は帰国者・接触者相談センター075-222-3421 に、先ず電話をして相談して下さい。症状を聴き、PCR 検査が必要な時は検査病院が指定されます。

日頃気を付けておられましようが、油断大敵、過ぎる事はありません。

洛西支所医療センターにて

<児童達より感謝の作品を受けました >

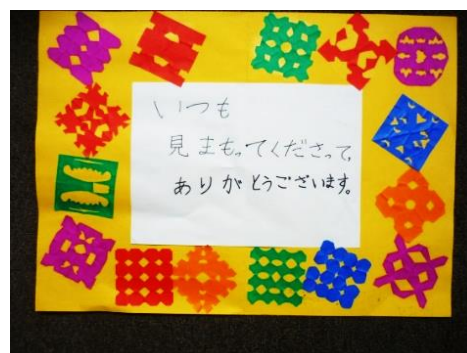
過日、桂坂小学校の児童から当倶楽部に写真のような「朝の声掛け活動」に対する子供達の感謝の心がこもった作品を頂きましたのでご紹介します。なお、次回の「朝の声掛け活動」は8月24日~9月4日、以下の概要で実施します。

場 所 校門他主要通学路7地点

活動内容 登校して来る子供達に、安全を確認しながら「おはようございます」と声を掛ける

活動主体 当倶楽部役員他会員有志(当倶楽部会員の証として指定の帽子着用)

窓 口 西井征一(333-7051) ※活動に賛同頂ける方はご一報下さい。



<野鳥遊園に観に来てください>



7月26日(日)まで約18点の絵画同好会会員の力作が展示されています。是非ご覧ください。

その後、8~9月は写真同好会、10~11月は書道同好会の作品が展示されます。以降は2ヶ月単位で上記三同好会が順番に発表します。山の手倶楽部としての発表機会が本年は限られておりますので皆様の来場をお待ちしています。

野鳥遊園: 休館日は月・火(祝日は開館)

: 午前10時~午後5時、電話 332-4610

会員の状況

(1) 新しく会員になられた方(令和2年4月以降) (敬省略)

お名前	自治会	同好会
くまがい 熊谷 たけし 武	けやき	グラウンド・ゴルフ

(2) 退会された方(同4月以降)

塩見 睦子さん(かえで)、喜多みどりさん(しらかば)、津田 幸子さん(さつき)
重田 昭子さん(ひいらぎ)、三浦すみ子さん、中村 綾子さん(にれのき)
島中喜代子さん(あかしあ)以上の皆様が退会されました。

(3) 会員数の状況(令和2年7月1日現在)

会員数 232名 本年度入会者数1名、同退会者数7名

今年度の編集委員 大矢修一、清水健男、岡村重臣、西澤四郎